

# 登壇企業

(登壇順)

>>> P4

バイオ



株式会社FuturedMe  
[東京都中央区]

業づくりを根底から変革する  
CANDDYプラットフォームによる  
未来の個の薬への挑戦

>>> P5

バイオ



株式会社オキシキャリア  
[東京都台東区]

世界の動物輸血医療を変える  
人工赤血球の開発

>>> P6

AI



株式会社Cubec  
[兵庫県神戸市]

全てのかかりつけ医を支援する  
次世代治療提案型AIの開発

>>> P7

ヘルスケア



株式会社Medifellow  
[東京都港区]

専門医からの  
リモート診療サービスを提供

>>> P8

ヘルスケア



株式会社SUSTAINABLEME  
[京都府京都市]

ヘルスケアを軸とした35歳からの  
ミドル層と組織のための健康経営  
推進支援プログラム

>>> P9

フードテック



株式会社コノミー  
[石川県金沢市]

地域の新鮮な食材とAIを用いた  
Personalized meal kit

>>> P10

環境



Floatmeal株式会社  
[北海道札幌市]

高タンパク植物ウキクサの  
安定生産技術の開発により  
食システムの低炭素化に挑む

>>> P11

ITサービス



KEYes株式会社  
[福岡県福岡市]

南京錠(キーボックス・ワイヤー  
ロック)を用いたスマートロック  
システムの提供

>>> P12

ITサービス



Lighthouse株式会社  
[千葉県柏市]

企業の利益創出をサポートする  
AI-インテグレーション事業

>>> P13

ITサービス



株式会社スライベックス  
[長崎県長崎市]

運送業界の売上利益直結のDXを  
実現する業務統合SaaSの  
開発・販売

>>> P14

ITサービス



インサイトアカデミー株式会社  
[東京都港区]

グローバル人材育成  
eラーニング・研修

>>> P15

ITサービス



Dots for  
株式会社Dots for  
[東京都千代田区]

超安価なWiFiインフラによる  
アフリカ農村の課題解決総合  
デジタルプラットフォーム

>>> P16

エネルギー



株式会社バンタレイ  
[新潟県長岡市]

風力の地産地消を目指す  
ソリューションカンパニー

>>> P17

エネルギー



株式会社アプテエナジー  
[滋賀県近江八幡市]

世界のエネルギーをアップデート!  
Li電池のカスケードリユースで  
脱化石燃料社会へ

主催

独立行政法人中小企業基盤整備機構

後援

経済産業省中小企業庁



代表者

代表取締役CEO 宮本 悦子

住所

〒103-0023  
東京都中央区日本橋本町2-3-11

ウェブサイト

<https://futuredme.com/jp/#secMV>

## 事業概要

### 薬づくりを根底から変革するCANDDYプラットフォームによる未来の個の薬への挑戦

FuturedMeは、バイオテクノロジーの力で、薬づくりを根底から変革し、オリジナル技術であるCANDDYプラットフォームにより、製薬会社と協業し、薬の創れない標的(アンドラッグターゲット)問題を解決していきます。プレジジョンメディシンのゲノム医療(個別化医療)において、特に、がんの領域で、自分の病気の原因であるタンパク質(標的)が検査で判明する時代となりましたが、その標的に薬がないという「ペイン」の問題があります。ミッションは、“No patients without medicine.” 「薬がなくて治療をあきらめる患者さんがいない未来を実現する」ことです。

## 強み・アピールポイント

CANDDY技術とは、日本発のオリジナルなバイオテクノロジー、分解創薬モダリティです。この技術とその特許に強みがあります。基本特許(コンセプト特許)として、広く強い特許を8カ国以上に出願し、日本や米国では、すでに登録済みです。この技術は、病気の原因タンパク質(標的)の機能を「阻害」する従来の薬では2割ほどの標的にしか薬ができませんでしたが、CANDDY技術で標的を「分解」することで、原理的に100%の標的を創薬可能とします。

## マッチングニーズ

協業・共同開発: 製薬会社との協業・共同開発を希望します。CANDDYプラットフォームは、様々な疾患の標的に適応できるので、複数の製薬会社と共同研究を締結していけるポテンシャルがあります。CANDDYプラットフォーム事業により、日本や海外の製薬会社との共同研究で、製薬会社の希望する標的に対して、分解薬を研究開発していきます。

資金調達: この度、NEDOのディープレックススタートアップ基金の第二回公募に採択され、NEDO\_STSFフェーズの資金調達において、目標調達額達成に向けて、最後の追い込み中です。1年後ぐらいに、NEDO\_PCAフェーズヘステージゲートを通過すると同時に、次の資金調達として、製薬系CVCやバイオディープレックス系VCなどから資金調達は計画しています。

## 代表プロフィール

学部(東京理科大学理学部化学科)卒業後、日本IBMを経て、東芝情報通信研究所において高機能材料の研究に従事。2000年4月から約10年間、慶應義塾大学理工学研究科と先導研究センターにおいて、助教、講師、准教授を経て、文科省振興調整費やゲノムネットワークプロジェクトに参加。2011年4月から、東京大学医科学研究所インタラクティブ医科学社会連携部門部門長。2014年10月より東京理科大学にてJST-START宮本プロジェクトなどを経て、2018年6月、新規創薬モダリティであるCANDDY技術を土台とした株式会社FuturedMeを設立、教授職と取締役を兼任。2021年6月、令和3年度女性のチャレンジ賞(内閣府男女共同参画会議、女性起業家の賞)を受賞、2022年4月1日付けで代表取締役CEOに就任。東京理科大学客員教授(薬学部)を兼任。



代表取締役CEO  
宮本 悦子



代表者

代表取締役 山口 智宏

住所

〒110-0005  
東京都台東区上野3-5-2 S-1ビル

ウェブサイト

<https://www.oxycarrier.com/>

## 事業概要

### 世界の動物輸血医療を変える人工赤血球の開発

輸血・献血システムが確立していない動物医療では、治療用の血液が絶対的に不足しています。ドナー動物の確保やボランティアからの供血などで対応している医療現場もありますが、緊急で血液が必要な時に間に合わないケースが多いのが現状です。我々は、早稲田大学が開発した有効性と安全性の高いリボソーム型人工赤血球を、動物医療にて臨床実用化します。日本を手始めに世界の動物医療の現場に輸血同等の医療機会を提供し、いまや家族の一員となっているペットの救命に貢献し、ひいては飼主の幸せにも寄与します。

## 強み・アピールポイント

リボソーム型人工赤血球は、世界に類を見ない安全性と有効性の高い人工酸素運搬体で、既に製造技術も特許技術として確立しています。特徴は、ウシ血液由来ヘモグロビン(Hb)を脂質二重膜で被覆したリボソーム型で、赤血球と同等の酸素運搬機能を持つ一方で、蓄積性がなく高い安全性を有し、また室温で2年間保存が可能です。市場調査では、臨床獣医師の99%から本製品に期待する声が聞かれました。すでに、原料(ウシ血液)、Hb精製、リボソーム製造のサプライチェーンも確保、臨床治験に係るCROとの相談を進めており、早期の承認・製品化を目指します。

## マッチングニーズ

協業・共同開発: リボソームの製造方法の改良に係る技術や装置開発、開発拠点、適用拡大や新規用途開発、世界展開を見込んだ製品販売などで共同開発や協業できる、医薬品メーカーや販売会社、装置メーカー、試薬・診断薬メーカーなど、本製品開発に興味を持ってくれる先とのマッチングを希望します。

資金調達: 製造技術が確立し、原料確保から製造、販売までのサプライチェーンも確保、臨床治験から承認申請を委託するCROとの交渉も進めています。3年以内の承認・上市、7.5年後のIPO(またはM&A)を目指しています。アニマルヘルス、動物医療や血液代替物に興味のあるVCや事業会社様からの資金調達を希望します(2024年4月ごろ)。

## 代表プロフィール

日本獣医学産大学卒業後、医薬品メーカー、化学メーカーにて医薬品開発(薬理研究)や細胞免疫療法の開発に従事。その後、細胞免疫療法技術開発ベンチャーの(株)リンフォテック創業に参画。動物用として同技術の応用を目的に2005年(株)ケーナインラボを設立、さらに動物用人工赤血球開発のために2019年(株)オキシキャリアを設立、現在に至る。  
医学博士(東京医科歯科大)。



代表取締役  
山口 智宏



代表者

代表取締役CEO 奥井 伸輔

住所

〒658-0032  
兵庫県神戸市東灘区向洋町中  
3-1-10 2番館312号

ウェブサイト

<https://cubec.jp/>

## 事業概要

### 「かかりつけ医」を支援する、次世代治療提案型AIの開発

電子カルテと連携して治療立案するAIを開発し、診療所かかりつけ医の慢性疾患診療を支援します。

患者個別の治療計画を立案するAIに対してかかりつけ医から利用料を得るとともに病院—診療所間の連携を強化し、紹介/逆紹介率の向上に対して病院から利用料を得る。本事業により、全ての患者の接点である「かかりつけ医」に専門医レベルの判断を提供し医療水準を飛躍的に高め、あらゆる患者に最適な個別化医療を提供します。

これまで各地域で患者情報共有システムが導入されていますが、有効活用されているケースは非常に限定的です。本事業は医師からAIへのタスクシフトで現場負担を下げるにとどまらず、AIを起点に地域の病院—診療所間の連携強化を促す、各地域への最適化が可能な医療AIプロダクトです。

## 強み・アピールポイント

治療提案まで踏み込んだ新領域の医療AIです。心不全関連のプログラム医療機器・サービスは複数ありますが、心不全の予防、早期発見、診断支援、認知行動療法などに焦点を当てており、本製品のような治療計画支援プログラムではありません。本品は独自のポジションをとっており、大きな市場シェア獲得が見込めます。

## マッチングニーズ

協業・共同開発: ユーザー接点・販路開拓:診療所・病院への販路をもち適正な治療普及を目指す企業や、電子カルテ事業会社・医師向け情報プラットフォームと連携し、本品の市場浸透を加速したいと考えています。

資金調達: これまでシード調達・AMED助成によりプロトタイプ開発を完了しています。  
今後、治験版開発・治験のためのシリーズA・2024年後半クローズを目指しています。

## 代表プロフィール

名古屋大学理学部卒業後、外資系製薬企業にて営業・マーケティング・組織文化開発に従事。京都芸術大学でのデザイン思考の学びを活かし、医療ITスタートアップにて、国立循環器病研究センターを中心とした研究プロジェクトに企業代表として参加。心不全パンデミックに対応するAI医療機器の社会実装を目指し、株式会社Cubecを創業。  
芸術修士・学際デザイン研究領域・京都芸術大学大学院



代表取締役CEO  
奥井 伸輔

代表者

代表取締役 丹羽 崇

住所

〒107-0052  
東京都港区赤坂2-10-2 吉川ビル2階

ウェブサイト

<https://medifellow.jp/>

## 事業概要

### 専門医からのリモート診療サービスを提供

主に海外にいる日本人のためのリモート診療（※オンライン受診勧奨）サービスを提供。

海外駐在員・同伴家族、留学生、海外旅行者・出張者を対象に、オンラインで専門医がリモート診療サービスを24時間365日体制で提供することで、医療不安の解消はもとより、病院の受診行動や医療の内容の適正化、医療費削減に寄与。

その他、主に中国・ベトナムの医療ツーリズム希望者向けセカンドオピニオンサービス、国内へき地・地方向けオンラインヘルスケアサービス、健診ハイリスク者向けオンライン受診勧奨サービスの提供等。

## 強み・アピールポイント

オンライン上に総合病院を作ったような体制で運営している点

- ・33科（全診療科）500人以上の専門医体制
- ・臨床経験豊富な専門医による適切な運営・マネジメント

## マッチングニーズ

協業： 販売代理店、付帯導入など（保険、カード、旅行、駐在員向け・旅行者向けサービスなど）  
共同開発：

資金調達： 事業シナジー性のある企業・法人等からの出資を想定

## 代表プロフィール

2005年愛知医科大学医学部卒業。2017年神奈川県立循環器呼吸器病センター呼吸器内科および倉敷中央病院呼吸器内科にて臨床研究管理者・呼吸器インターベンション指導医を兼務。総合内科専門医・指導医、呼吸器専門医・指導医、気管支鏡専門医・指導医などの資格を有するほか、世界肺癌学会、欧州呼吸器学会、米国胸部学会など国内外学会での活動実績や受賞歴を複数有する。現在も診療ガイドライン作成委員や厚生労働省難病指定疾患研究班委員を務め、胸部血管内治療や気管支鏡診断・治療の発展に努めている。



代表取締役  
丹羽崇



SUSTAINABLEME

代表者

代表取締役 後藤友美

住所

〒615-0064  
京都府京都市右京区  
西院久田町2 1-1-4 12

ウェブサイト

<https://sustainableme.co.jp/>

## 事業概要

### ヘルスケアを軸とした35歳からのミドル層と組織のための健康経営推進支援プログラム

35歳からのミドル層と企業を対象とした健康経営推進支援プログラムは、従業員の総合的な健康促進を目指しています。プログラムはヘルスケアを中心に据え、定期的な健康チェック、カスタマイズされた栄養指導、ストレス管理、適切な運動習慣の提案など、個別のニーズに合わせた包括的なサービスを提供します。

組織全体においては、従業員の健康と働きやすさを向上させ、生産性を高めることで、持続可能な健康な働き方を支援します。プログラムは継続的なフォローアップとデータ分析を通じて、組織の健康経営を効果的に促進します。

## 強み・アピールポイント

当プログラムの強みは、ヘルスデータを活用し、医療従事者の伴走支援を通じて個々の従業員の健康課題に直接対応できる点です。個別の健康データに基づいたカスタマイズされたアプローチで、効果的なケアとサポートを提供し、従業員一人ひとりの健康増進を促進します。

## マッチングニーズ

**協業・共同開発:** 当サービスにおいては、健康テクノロジー企業や医療機関との協業が有益です。データ解析やヘルステックの企業と連携し、高度な予防プログラムを開発できます。また、保険会社や福祉団体とも連携し、従業員と企業の共同負担モデルを構築したいと考えています。持続可能な健康経営を目指す企業との協業を通じ、健康な働き方の普及を目指します。

**資金調達:** 革新的な健康経営推進支援プログラムの拡充を目指し、資金調達を行っています。効果的な健康プランの開発や技術の向上に注力し、スケール拡大を図ります。投資家の皆様とのパートナーシップを通じ、従業員と企業の健康を最適化し、企業価値向上を追求しています。

## 代表プロフィール

約20年に渡り主に女性医療(周産期・女性特有癌疾患・その他女性特有の不調・婦人科・泌尿器・乳腺等)専門作業療法士として臨床に従事、多くの女性たちと関わる中で病気になる前にできることがもっとあるのではないかと考えるように。働き世代が直面しやすい性ホルモンにまつわる不調に伴う更年期離職などリアルな社会課題に直面し、計画を前倒して2021年に株式会社SUSTAINABLEMEを設立。



代表取締役  
後藤友美



代表者

代表取締役 長岡 志織

住所

〒920-0024  
石川県金沢市西念1-3-8 田村ビル102

ウェブサイト

<https://spiceme.jp/>

## 事業概要

### 多様化する健康的な食生活を「超・パーソナライズ」するフードテック・カンパニー

弊社は、AI技術を駆使して健康食を個別最適化し、ホテル業務用、小売、EC直販を通じて提供するフードテック企業です。食事の評価は「食べる人」「食べる場所」「食べるもの」の三つの軸で構成され、このデータを基に最適な健康食の提供を実現します。レシピの開発には、世の中で唯一、健康的な調味料である「スパイス」を用いて、一人ひとりの健康と味覚に合わせた多様な食体験を提供します。スパイスは、アンチエイジングや抗酸化作用など漢方として使われるほど、定期的に摂取することで健康を促進します。食の多様性と健康志向を追求し、各々のライフスタイルに溶け込む、次世代の健康食の提供を実現します。

## 強み・アピールポイント

- ・世界で唯一「健康を促進する」調味料である“スパイス”を活用した100のレシピ
- ・日本初の「ハラル対応」業務用ミールキット
- ・上場企業複数社との取引実績
- ・不揃い品を活用し食材ロスに貢献
- ・石川県内120社参加のビジコンで優勝
- ・「がっちりマンデー」「日経新聞」その他、メディア露出多数

## マッチングニーズ

- 協業・ 販路拡大: ホテル及び飲食店様にハラル対応の業務用ミールキットを提供できます。
- 共同開発: コラボレーション: 知名度や販路をお持ちの企業様との食材や調味料、健康食としてのコラボレーション
- 資金調達: FUNDINNOに採択され、2023年12月にPre-Aの調達を完了
  - ・営業活動が好調であるため、増床・営業体制強化のためSeriesAの調達を開始(2024年4月クローズ予定)

## 代表プロフィール

代表取締役 CEO: 長岡 志織

石川県小松市出身。オーストラリアに11年間滞在中に世界各国のスパイスを活用し、世界最大のミールキット事業者「Hello Fresh」や、ミシュラン星付きシェフに、オリジナルスパイスの開発を多数行う。また、スパイス工場の工場長も務め、仕入れ、梱包、加工、配送、コスト管理、品質管理を担当。spice meではレシピ開発と工場管理の中核を担う。

・全国の“スパイス専門家”が教えを請う、圧倒的なレシピ開発力・エスピー食品様とのミールキット共同開発を経験

取締役 COO/CTO: 尾島 康仁

中学時代にプログラミングを始め、大学在学中にシステム開発事業で起業。首席で卒業後も、webマーケティング事業やソーシャルゲーム事業などに手を広げ事業を売却。本事業ではAIによる解析や工場のオートメーション、マーケティングを担当。

・日本マクドナルドにて傘下約4000店舗を含むERP導入プロジェクトの統括コンサルとしてプロジェクトを牽引。  
・KDDI(MAU200万人のtoC向けサービス)における統括管理および歴代最多売上記録保持



代表取締役  
長岡 志織



取締役 COO/CTO  
尾島 康仁



代表者

代表取締役 北村もあな

住所

〒003-0005  
北海道札幌市白石区東札幌五条1-1-1  
札幌市産業振興センター

ウェブサイト

<https://ja.floatmeal.jp/>

## 事業概要

### 高タンパク植物ウキクサの安定生産技術の開発により食システムの低炭素化に挑む

食肉や大豆など、現在のタンパク質生産は地球温暖化の主要な原因の一つとなっています。

Floatmeal株式会社は、最も早く成長する高タンパク植物ウキクサの持続可能な安定生産技術の開発により食システムの低炭素化に挑みます。ウキクサは、気候変動に強く、成長が早く、低コストでタンパク質やエネルギーを生産できる多機能資源植物で、必要な農地面積および水使用量は、大豆と比較して大幅に削減できます。さらに、最新の研究によるとウキクサは光合成によって大量の二酸化炭素(CO2)を吸収することが示されており、ウキクサは大豆の5倍、二酸化炭素の吸収が可能です。ウキクサは自社生産し、まずは植物タンパク源や機能性食品を扱う食品メーカーへの原料提供と商品開発により事業拡大を図ります。

## 強み・アピールポイント

Floatmeal株式会社の強みは、独自の有用微生物を活用した、低コストで環境負荷の低い、ウキクサ栽培技術です。独自の微生物に関する技術は汎用性が高く、微生物を活用した機能性食品への応用や、ウキクサ以外の他水耕栽培植物の効率的な栽培が可能です。さらに、食用としてのウキクサを展開後は多種類のウキクサを用い、バイオ燃料用途のウキクサ生産への進出も十分可能です。弊社は国内で唯一ウキクサを生産している企業です。

## マッチングニーズ

協業・  
共同開発： 食品メーカーとのマッチングを希望します。

資金調達： シードラウンドの調達として、2024年4月頃の資金調達を希望します。

## 代表プロフィール

ニュージーランド出身。北海道大学大学院水産科学院修士1年生。あこがれの北海道で、海について学んでいくうちに、環境問題への関心を持つように。大学の実習で北極を訪れた際に気候変動の影響に危機感を抱き解決を決意。同大学で出会った仲間達と共に次世代の食資源を開発すべく、2023年5月にFloatmeal株式会社を創業。



代表取締役  
北村もあな



代表者	代表取締役 野寄朋彦
住所	〒810-0042 福岡県福岡市中央区 赤坂1-10-28 重松ビル 4F
ウェブサイト	<a href="https://www.keyes.info/">https://www.keyes.info/</a>



## 事業概要

### 南京錠(キーボックス・ワイヤーロック)を用いたスマートロックシステムの提供

南京錠などを用いた非シリンダー環境での屋外で使えるスマートロックシステムを提供しています。スマートロックの多くはドアに取り付けるものですが、弊社システムは告示不要でスイッチができます。また、屋外(風雨下)での利用も可能です。

## 強み・アピールポイント

屋外で使えるスマート南京錠という特性から、弊社は既にJR九州様、九州電力様、日本製鉄グループ様に導入頂いております。鍵の管理がオートでできる、コピーを取られない、鍵の受け渡しに取られる業務時間の大幅な合理化などにより、今後インフラ関連企業を中心に大きくディスクローズしてまいります。

## マッチングニーズ

協業・共同開発: インフラ関連、大規模工場での試験導入。自治体の防災倉庫でのSIM付き南京錠(通信機能付き)などにさらに進化させた錠前の開発など。

資金調達: 昨年はJ-KISSで約1億5千万円の資金調達をいたしました。本年は1億円以上の調達を夏をめどに目指しております。

## 代表プロフィール

1976年1月4日生まれ 大分大学大学院工学研究科修士  
大学修了後、建設業界に就職し、その後IT業界に転職する。  
その後九州大学へ招聘されマイナンバーカードの実証実験に学術研究員として参画、ICカード関連システムの研究開発の技術側の統括を行う。九州大学学内の学生証・職員証で利用しているICカード関連システム及びサービスの導入・切り替えを運用面・技術面からサポートする。その後、国内EMS企業、経営企画本部の経営戦略室に転職し、主に医療機器を使った新規事業開発を担当。2017年10月より株式会社コードキューで、商品企画、ソフトウェア開発を担当。



代表取締役  
野寄朋彦



代表者	代表取締役 針生 亮汰
住所	・東京オフィス 〒105-0011 東京都港区芝公園1丁目8-20 H10芝公園902 ・千葉オフィス 〒277-0871 千葉県柏市若柴178-4 ゲートタワーウェスト3F
ウェブサイト	<a href="https://www.lt-house.com/">https://www.lt-house.com/</a>



## 事業概要

### 企業の利益創出をサポートするAIインテグレーション事業

「FUNNEL(ファネル)」という生成AI活用型のAIソリューション群を提供しています。問い合わせ対応を自動化するチャットボット、ユーザーニーズを引き出し商品提案を行うAI販売員、資料作成の自動化、オペレーターの対応状況をモニタリングするダッシュボード等、様々な用途のAIソリューションを複数展開しています。

また、戦略/業務/ITコンサルティングの見識を活かしたAI活用戦略の策定や組織課題解決等のコンサルティングも行っています。

## 強み・アピールポイント

当社の強みは、①ユースケース創出力：あらゆる課題解決に貢献できる様々な種類のAIソリューションを開発していること(現時点で6製品)、②精度向上ノウハウ：導入後に導入企業内で回答精度を高められる仕組みを持っていることで、これらの強みを活かし、大手企業や公共団体の業務効率UPや売上向上施策を複数展開しています。

また、これらのBtoB向けソリューションに加え、BtoC事業として口コミを活用した新しいコンテンツプラットフォームを実施予定です。

## マッチングニーズ

協業・ 「生成AIを活用して新たな製品やサービスを開発したい」「生成AIを社内ですべて活用すべきか悩んでいる」  
共同開発： 「コスト削減や売上向上等の課題解決策に困っている」等ありましたら、是非お声掛けください。

資金調達： BtoB向け事業で既に収益化済みではあるものの、今後のスピーディーな事業規模拡大のため、VC・事業会社を中心に資金調達を計画しています。また事業提携についてもお声掛け頂けると幸いです。

## 代表プロフィール

新卒で大手通信キャリアに入社し、金融系サービスの企画/利用促進、パートナー企業とのアライアンス業務を担当(2012～2017年)。

その後、シンクタンク系コンサルティングファームで戦略/業務/IT領域のコンサルティングをインダストリー横断で提供(2017～2023年)。

2年間の事業準備/研究期間を経て、2022年11月にLighthouse株式会社を設立。



代表取締役  
針生 亮汰

THRIVEX

代表者	代表取締役 鶴野 嵩敬
住所	〒850-0035 長崎県長崎市元船町9-18長崎BizPORT2F
ウェブサイト	<a href="https://thrivex.co.jp">https://thrivex.co.jp</a>



## 事業概要

### 運送業界の売上利益直結のDXを実現する業務統合SaaSの開発・販売

運送業の収益と効率性を革新する業務統合SaaSソリューションを開発提供します。受注から配車、請求管理まで、すべての業務を一元管理し、効率化を図るだけでなく、厳格化する労務規則をクリアしながら直接的に売上や利益の最大化を図ります。クラウドベースのプラットフォームを用いて、柔軟かつアクセスしやすい運用性を実現します。

## 強み・アピールポイント

当社の運送業DXパッケージは、独自のカスタマイズ性と先進的な機能を兼ね備えています。一元管理によるバックオフィスの効率化だけでなく、自社の空車情報とマッチングプラットフォームとの連携による自動配車、案件毎の原価管理と単価交渉のためのコンサルティングサービスまで、運送業における業務と営業を全面的にサポートします。LINEをインターフェースにしたデータ連携によりコミュニケーションの効率化と労務管理の自動化にも対応しています。

## マッチングニーズ

- 協業・共同開発: 新たな物流管理の分野で協業や共同開発を希望しています。物流分野におけるAI技術やビッグデータ分析を手がける企業との連携を通じて、運送業のさらなるDXを推進したいと考えています。SaaSのマーケティングや顧客サポート体制の強化に関し強みを持つる企業とのマッチングも希望しています。
- 資金調達: 次世代運送業DXソリューションの開発と市場拡大のため、資金調達を計画しています。投資家からの支援により、プロダクトの革新と市場展開を加速させていきたいと考えております。

## 代表プロフィール

自動車メーカーでの設計経験を経験後、業務・ITコンサルティングファームにて、基幹システムリニューアル、業務改革などのプロジェクトに従事。2021年5月に株式会社スリースリープラス(現:株式会社スライベックス)を設立し、中小企業向けDX戦略策定及び実行支援に注力している。



代表取締役  
鶴野 嵩敬



代表者

代表取締役 金 珍燮

住所

〒105-0004  
東京都港区新橋1-12-9  
新橋プレイス7F

ウェブサイト

<https://client.insighta.co.jp/>

## 事業概要

### グローバル人材育成eラーニング・研修

当社は「海外で収益を生み出す人材を育てる」ことをビジョンとして掲げているグローバル人材育成専門会社です。約5000名の海外事業専門家ネットワークを有しており、育成プログラムもあまり学術的な内容よりも実践的な内容をご提供しています。メインのサービスはグローバル人材育成特化型eラーニング「INSIGHT ACADEMY」です。IAには130以上の専門講座をリリースしており、IDを持っている受講者であれば全ての講座を受講いただけます。大手企業を中心に150社以上に採用されており、海外駐在員、海外駐在予定者、海外事業従事者、国内社員に至るまで幅広く利用頂いております。

## 強み・アピールポイント

グローバル人材育成×eラーニング領域においてユニークなポジショニングを確立していることが当社の最大の強みです。海外事業の専門家5000名の共通点からグローバルで活躍する上で必要な要件を網羅的に定義し、各要件を強化するための講座を130以上揃えております。特に国ごとの課題に対応する講座を揃えており、他社には真似しにくい独自の強みとなっています。

## マッチングニーズ

協業・ 海外駐在予定者/駐在員向けに語学サービス提供を検討しています。協業・共同開発含めて多言語展開を検討  
共同開発: していますので、協業に興味ある会社様がいらっしゃればぜひ声掛けください。

資金調達: グローバル人材検定サービス開発を検討しています。検定×eラーニングでToCへ市場拡大・事業成長の加速を計画しており、資金調達を目指しています。

## 代表プロフィール

2003年に来日。(株)ミスマの企画職を経てPwCコンサルティングに入社。日系・外資系のグローバルカンパニーを対象に戦略・M&A・マネジメントコンサルティングを複数手掛ける。その後、(株)ミクシィの社長室・戦略責任者に就任し、幅広いサービスで事業戦略の策定を牽引。複数の事業戦略/遂行の経験から、グローバルビジネスの成功を押し上げる人材育成ツールが不足していることに課題感を感じ、当社を創業。中小企業診断士。



代表取締役  
金 珍燮



代表者	代表取締役 大場 博哉
住所	〒101-0021 東京都千代田区外神田3-6-4 第一勧業信用組合秋葉原ビル5階
ウェブサイト	<a href="https://dotsfor.com/">https://dotsfor.com/</a>



## 事業概要

### 超安価なWifiインフラによるアフリカ農村の課題解決総合デジタルプラットフォーム

既存の通信会社は「住民の収入が低すぎて採算性が取れない」という理由で、アフリカ農村部にインフラ投資がされず、アフリカ農村部にはデジタルインフラが全く存在しません。そのため、農村の住民は、先進国やアフリカ都市部で動員しているデジタル化・オンライン化の流れから完全に取り残されており、先進国と途上国間そして地方部と都市部間の格差が急速に広がる一因となっています。Dots forは、誰でもアクセスできるWifiネットワークインフラを村々に圧倒的安価で構築、スマートフォンの割賦販売も併せて提供することで、動画見放題のローカル版NETFLIXを実現しています。さらに、集まったデータを農村住民の与信分析に活用し、より高単価商品の割賦販売を提供することで、高返済率を実現しながら農村住民の収入向上や資産形成や生産性の向上に寄与しており、彼らの生活を大きく向上しています。

## 強み・アピールポイント

アフリカ地方農村住民は、これまで与信がなく金融商品に全くアクセスができませんでした。収入が低いために一括でモノが買えない彼らにとって、分割でアセットが購入できる仕組みは非常に有用で、アセットの購入によって生産性を上げて収入を上げることができるはずが、収入が低いために与信もないせいでアセットファイナンスをするプレイヤーが現れない状況でした。そんな彼らに対して、独自に構築するデジタルプラットフォームを通じてアフリカ農村住民の行動データを集め、そのデータを活用した与信分析に基づいた農村住民向けのアセットファイナンスを実施しているほぼ唯一のプレイヤーが、Dots forです。

## マッチングニーズ

協業・共同開発: アフリカ農村でのプラットフォームを通してアフリカ農村市場に物品を売りたいメーカーやサプライヤー、農村にコンテンツ配信を行いたい映画や音楽・ゲームなどのコンテンツホルダーとアフリカ農村市場の開拓を一緒に行っていきたくと考えています。

資金調達: 2024年夏にPre-Aラウンドで3億円の調達活動を予定。アフリカ農村個人からの課金を軸に、売上ベースでもMoM 50%成長中です。

## 代表プロフィール

AmazonやWASSHA、科学技術振興機構（JST）などにおいて、アフリカを初めとした様々な国での新規事業開発や経営に従事。AmazonではPMとしてデータ分析によるプロジェクトのトップライン向上や生産性向上に貢献。JSTでは多国間の国際研究協力のスキーム立ち上げと運用を実施。C Channelの海外事業執行役員としてタイ・インドネシア事業1年目で複数月の単月黒字を達成。直近2年間はWASSHAの新規事業マネージャーとして、タンザニアの漁業向けエンジンレンタル事業および事業者向けバイクタクシーハイヤーサービスの立ち上げを主導。米国カリフォルニア大学サンディエゴ校でMBA取得。100カ国近くを旅した現役バックパッカー。



代表取締役  
大場 博哉



代表者	代表取締役 佐藤 靖徳
住所	〒940-2188 新潟県長岡市上富岡町1603-1 キャンパスインキュベーションオフィス 総合研究棟7階705室
ウェブサイト	<a href="https://www.pantarhei-nagaoka.com/">https://www.pantarhei-nagaoka.com/</a>



## 事業概要

### 風力の地産地消を目指すソリューションカンパニー

静音性と安全性が高い小型風力発電(世界5カ国で特許取得)を活用することで人が暮らす環境でも太陽光と風力発電を複合的に活用でき、自立分散型/地産地消型の電源ソリューションを提供します。また、導入に際して風況のみならず太陽光含め複合的な自然エネルギー発電のポテンシャル調査も行います。

また、アメダスやGPVデータを利用した風況シミュレーションソフトを開発しており、自治体単位のマクロな領域からビル単位のミクロな領域まで対応可能です。風力発電導入前に必要な風況予測や風車の発電量予測などを実施できます。一時は完全に衰退した小型風力発電市場ですが、我々は大学発のシーズ技術を用いて分散型/地産地消型の小型風力発電が普及する新しい未来を開拓します。

## 強み・アピールポイント

世界5カ国で特許を取得した小型風力発電は微風から暴風まで安心安全に運用できるため、人が近くにいる住環境から、突風が吹き荒れるような極限環境まで場所を選ばずに設置ができ、従来の小型風力発電が参入できなかった市場を開拓できます。

## マッチングニーズ

**協業・共同開発:** 小型風力発電や複合的に太陽光発電を用いたIoTセンサー稼働など、小規模電源需要をお持ちの企業の方々。高トルク・低回転で安定した出力が可能な発電機の開発、小型風力発電や風車の動力を用いて製品開発を希望する企業の方々。

**資金調達:** シードラウンドの調達として、弊社の取り組みやミッションに共感して下さる投資家の方々からの資金調達を募集しています。直近の資金用途は以下の通りです。  
2023年にPoCを完了したセンサー給電用モジュールの製品化に向けた研究開発から生産体制の整備までを支援、クラウドファンディングで2024年リリース予定のポータブル風力発電の生産体制を整備。

## 代表プロフィール

2014年 秋田高専 卒業  
2015年~2016年 インド工科大学マドラス校 留学  
2019年~2020年 スタンフォード大学 留学  
2021年 長岡技術科学大学 博士(工学)  
株式会社パンタレイ 設立  
2022年 縦渦風力発電の特許をパンタレイに譲渡  
経産省始動 Next Innovator 8期生



代表取締役  
佐藤 靖徳



代表者	代表取締役社長 王本 智久
住所	〒523-0046 滋賀県近江八幡市上野町58-1
ウェブサイト	<a href="https://www.upd.energy">https://www.upd.energy</a>



## 事業概要

### 世界のエネルギーをアップデート!Li電池のカスケードリユースで脱化石燃料社会へ

エネルギー資源の再活用技術を軸に、資源・エネルギーの地産地消・自給自足を実現し、脱化石燃料社会を目指しています。次の3つの事業を行っています。①Li電池のカスケードリユース:役目を終えたリチウムイオン電池を劣化診断し再パッケージング、カスケードリユースすることで新たなエネルギー製品にアップサイクルします。②オフグリッドシステム構築:様々な蓄電池を用いて自動販売機や住宅、オフィスや地域などを独立電源化するオフグリッドシステムを構築します。③コンバートEV製造:ガソリンエンジン車をEVに生まれ変わらせるコンバートEVの製造を行っています。

## 強み・アピールポイント

使用歴のわからないどんなリチウムイオン電池でもリユースすることができます。このコア技術は産学連携で培っており、代表の電気化学分野での研究実績(京都大学)と技術顧問の電気電子分野での研究実績(立命館大学名誉教授)により、境界領域である電池の劣化診断が可能となりました。エネルギー資源をカスケードリユースすることで低コスト化、資源循環、脱炭素・脱化石燃料に大きな貢献を果たします。また、多くの大企業とエネルギー製品を共同開発しており、これらの製品やソリューションをエネルギー後進国に輸出することができます。

## マッチングニーズ

協業・共同開発:蓄電池のリユースを活用した様々なエネルギー製品やソリューションの協業・共同開発を希望します。また、販売チャネルとしての協業も希望します。日本で開発された高品質なエネルギー製品やソリューションをエネルギー後進国へ輸出することを目指しておりますので一緒に海外展開ができる企業様との協業を希望します。

資金調達: IPOを目指しておりますのでステージ毎の資金調達ニーズがあります。資源循環、再生可能エネルギー、バッテリーリユース、脱炭素、脱化石燃料、EVなどに関心や強い思いがある投資家様との協業を希望いたします。

## 代表プロフィール

1980年滋賀県生まれ。情報工学修士、京都大学大学院博士後期課程物質エネルギー化学専攻在籍中。エネルギー管理士、第三種電気主任技術者、一級電気工事施工管理技士、第一種電気工事士。立命館大学大学院で画像処理・AIを専攻、在学中の2005年にIT企業を設立、成功報酬型SEO対策、ネット広告媒体運営、成功報酬型ECサイト構築、プロモーションやコンサルティング、近年ではDX化推進事業を推進。2018年よりIoT事業を手掛け、2022年に分社化しIoT企業を設立。2015年にはエネルギー製品開発の社団法人立ち上げに携わり、スピンオフとして2022年に株式会社アプデエナジーを設立。世界のエネルギー社会アップデートを目指し、脱化石燃料社会の構築に邁進中。



代表取締役社長  
王本 智久